

【4】吉井地区を支える団体

◎町内連合会

吉井行政センター管内の26の区（町内会）で構成され、地区内全般の円滑な運営及び発展に寄与することを目的に相互の連絡、調整、協力及び親睦を図っています。

また、他の関係団体と連携を図りながら、町内会活動の活性化をはじめ、生活環境整備、防犯・防災、交通安全施設の整備、道路整備など地区が抱えている諸問題の解決に向けて努力しています。



◎民生委員児童委員協議会

吉井地区民生児童委員協議会は、現在15名の民生児童委員と2名の主任児童委員の計17名で構成されています。地区内26区、約2,400世帯を担当しています。ひとり暮らしの高齢者、障がい者や悩みを抱えている方々の相談相手としての活動のほか、地域の児童生徒の見守りなどの活動をしています。特に児童の「通学合宿」「放課後子ども教室」などの行事等にも出来るだけ参加し、少しでも地域の教育の役に立てるように努めています。

今後とも、地域の福祉に少しでも貢献できるように努めていきたいと思いをします。



◎老人クラブ連合会

町内の9つの単位老人クラブがからなり、会員数は約400名です。会員の健康保持・社会参加・社会奉仕を目的に活動しており、町内の諸行事にも積極的に参加・協力しています。

各単位クラブでは事業所や施設・公民館周辺・町内道路の清掃作業や、研修会・誕生会などの各種集会、グラウンドゴルフ大会のほか研修旅行等を行っています。

「人生は山坂多い旅の道」「縁は異なるもの味なもの」「袖触り合うも他生の縁」を長寿の心得として、付き合いを進めています。



◎エコツーリズム研究会

「地域にいっぱいの笑顔と活力を見たい」という思いで有志が集まり、平成20年の6月に研究会を立ち上げました。毎月の研究会の中で、改めて私たちのふるさとを見直してみると、自慢できるものばかりです。

考古学上きわめて貴重な福井洞窟、佐々川の自然造形ポットホール、御橋観音、三連橋梁やアーチ石橋のほかにイチゴやメロンといった特産物もあり、数えれば限りがありません。

現在は、笑顔いっぱいの参加者たちを思い描きながら、「ふるさとの川の集い」「曲川橋スケッチ大会」等を企画しています。



◎生涯学習推進会

吉井地区生涯学習推進会は、町内連合会（区長会）や老人クラブ・婦人会・青少年健全育成会・文化団体・学校など吉井地区を支える関係団体で構成されています。

健康増進と親睦を図る町民運動会や体力づくりの駅伝大会、小・中学生を対象にしたロードレース大会等、いずれも町民の手づくりによる行事を開催し、毎回盛り上がりを見せています。また、公民館等を利用して文化的なサークル活動をされている皆さんの、日ごろの成果発表の場となる「吉井地区文化祭」は、毎年多くの来場者で賑わい、地域住民の楽しみとして定着しています。



【5】吉井地域福祉推進会の紹介

どのような団体？

地域福祉推進会は、地域住民の身近な困りごと把握し、その解決に向けて住民参加による活動に取り組み、より住みやすい地域づくりを進めるという役割を担った組織です。

吉井地域福祉推進会は、平成19年に設立され、構成団体のメンバーを中心に、住民の皆さんと一緒にさまざまな活動に取り組んでいます。

どのような人たちがメンバー？

町内連合会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、学校、ボランティア団体など、幅広いメンバーで構成されています。

主な活動は？

地域福祉推進会では、地域が抱えている福祉問題や住民のニーズにあった活動に取り組んでいます。ここでは、主なものを紹介いたします。

定例会の開催

吉井地区に暮らす地域住民の福祉問題の把握と、その解決に向けた話し合いを行っています。これまで、福祉問題の把握方法や地域福祉活動への取り組み方法などを重点的に話し合いました。地域の困りごとや悩み、地域における福祉活動の推進などについて、ご意見等ございましたら、お気軽にお寄せ下さい。

地域福祉推進会だより「ふくしの風」の発行

地域住民の福祉意識の向上と福祉活動への参加促進、地域福祉推進会活動のPRなど目的に、広報紙「ふくしの風」を発行し、地区内の全世帯に配付しています。

広報誌には、地域福祉推進会の活動状況やボランティアの募集などを掲載し、地域住民が福祉情報を共有できるように努めています。

広報部会が中心となって、見やすい、読みやすい紙面づくりに努めています。



これからは、地域の様々な団体が共に連携を深め、一緒に活動していくことでさらに充実した活動につながるのではないのでしょうか。

地域で活動されている団体の情報がありましたら、ぜひお知らせ下さい。